

「歩み出そう未来へ」をスローガンに 復旧・復興に全力投球

一般社団法人 熊本県建設業協会



被災道路の応急復旧に取り組む建設業協会会員

住民生活や経済活動の基盤であるインフラの整備やメンテナンスの「担い手」であるとともに、自然災害発生時には最前線で地域の安全・安心を担う「守り手」として重要な役割を果たす建設産業。一般社団法人熊本県建設業協会は熊本地震発生直後から復旧復興に力を注いでいる。人手不足や資機材不足の渦中にある中、復旧復興への道のりは長い、復旧復興工事を円滑に進めるための受注環境の改善を提案するなど、行政機関と連携しながら、「オール熊本」で大仕事に挑んでいる。



各地で寸断された道路の復旧を最優先に不眠不休で対応する会員各社

震災発生直後に駆けつけ ライフラインやインフラ復旧に全力挙げる

建設業界は道路や橋、堤防などの社会資本の整備をはじめ、住宅や職場の建物の建築などそのフィールドは多岐にわたり、地域での生活や仕事に欠かすことのできない基盤整備を担っている。また、自然災害発生時には、地域の守り手としてその唯一無二の能力を活かし、地域の安全・安心確保のため、その最前線で活動している。熊本地震から1年以上経過し、復旧・復興が本格化しているが、これまで県民の生活を支えるための応急復旧から復旧・復興の先頭に立ち、活動してきた建設業界。熊本県建設業協会のこれまでの復旧活動を振り返る。

昨年4月14日に発生し、未曾有の被害をもたらした熊本地震では、電気、ガス、水道などのライフラインはもとより、被災者の支援・救助を行うための道路も寸断された。このような中、県内の建設業者712社を束ねる一般社団法人熊本県建設業協会（橋口光徳会長）は地震発生直後に熊本市中央区九品寺4丁目の県建設会館に災害対策本部を設置。地形などを熟知する地域の建設業が真っ先に現場に駆けつけ、被災道路の通行を可能とするべく、段差解消や、道路の通行を妨げる支障物となっていた倒壊家屋を含めた瓦礫の撤去など「道路啓開」活動に全力を尽くした。この道路啓開は、人命救助・緊急物資輸送路確保の観点からも、被災地＝被災者の

命をつなぐ生命線の確保に直結するため最優先事項であり、地元建設業が先陣を切って不眠不休で道を切り開き、その後続く被災地・被災者の支援をより円滑にしたことは言うまでもない。

応急復旧から本格的な復旧復興へ 受注環境改善などで工事の円滑化を図る

これら活動は、国土交通省や熊本県・各市町村との結ぶ災害協定（以後「協定」）に基づいて実施するもので、各地域の支部では公共土木施設等の被害情報の収集（パトロール）および管理者に対する報告を皮切りに、道路管理者・河川管理者である各自治体等より要請を受け応急復旧活動に入るもの。熊本地震で要請を受けて実施した活動は、①人命救助活動に資する協力、②公共土木施設等の被害情報の収集および管理者に対する報告、③国道・県道・市町村道路啓開および応急復旧（擦り付け、段差解消、道路をふさぐ倒壊住家撤去含む）、④緊急性を伴う応急復旧への対応、⑤政府現地対策本部要請への対応、⑥給水活動支援、⑦被災者支援物資の緊急輸送など、多岐にわたっており、いずれも非常に重要なものばかりだった。

協定に基づいた要請に対して、応急復旧などの対応を行った件数は1万5871件にもおよび、活動人員は延べ6万4542人、重機等は延べ1万5496台、運搬車両は延べ1万9873台とまさに総力戦だったことは想像に難くない。特に緊急性の高い道路・河川については昼夜三交代で応急復

【震災から協定に基づく対応、及び、応急復旧を含めた対応数】

要請件数	15,871件（内訳/国：2,680件、県：4,639件、市町村：8,552件）
対応種別	道路関係：8,964箇所、河川関係：3,288箇所、がれき撤去：2,333件
活動人員	延べ64,542名（内訳/応急復旧：58,928名、パトロール：4,608名、給水活動：354名、応急危険度判定他：652名）
重機等	延べ15,496台（内訳/バックホー：13,004台、その他重機：2,492台）
運搬車両	延べ19,873台（内訳/ダンプトラック：16,636台、重機運搬車：3,237台）

旧にあたった。橋口会長は「協会会員企業の人員や機材をフル活用して復旧にあたった。会員の中には自ら被災した人も多かったが、休日返上で懸命に作業にあたってくれた」と労う。

今年は「復興元年」と言われ、復旧・復興工事も本格化していくが、いかに建設産業がスムーズに対応できるかがカギとなる。「復旧復興は長期的な取り組みになるが、住民の安心安全な生活を守るためにも、今後も協会を挙げて対応していく。復旧・復興工事をよりスムーズに進めるためにも、時には行政機関と膝を突き合わせた話し合いを行いながら、受注環境の改善に向けて取り組んでいきたい」と橋口会長は決意を語る。「歩み出そう未来へ」を復興スローガンに熊本地震からの復旧・復興の先頭に立つ建設業。県民の1日も早い安全安心を提供するため、熊本県建設業協会はその牽引役として全力を尽くす。

DATA

所在地 〒862-0976
熊本市中央区九品寺4-6-4
TEL 096-366-5111
FAX 096-363-1192
会員数 715社(2016年7月15日現在)
支部 熊本、荒尾、玉名、鹿本、菊池、阿蘇、上益城、宇城、八代、人吉、芦北、天草、建築、舗装
URL <http://kumaken.or.jp>

採用情報

採用情報サイト
<http://kumakenjob.com>
熊本県建設産業団体連合会の会員企業の採用情報を集めた情報サイト「くまけんではたらく」はこちら→

